編集後記

本号には正月らしい　景気のよい話でも書けばよいのであるが　この原稿を書いているのは年末でもあるし　あまり天下泰平を並べる気分にもならず　つい不平不満の方へ　ペンが向く．

医療費は法律で　きびしく決められており　これを値上げする事は甚だ困難で　大騒動のあげく　雀の涙ほどの値上げが認められる．医療費は国民生活に重大な関係があるとの理由で　不当に低く押えられ　そのしわ寄せが医者にかかつて来る．ところが鉄道料金とか郵便料等は　比較的簡単に上がり　その際に労組等の反対もない．一般国民は　仕方がないと黙つている．これらの料金も国民生活に重大な関係があるのだから　簡単に上げてはならぬ筈だ．近頃は諸物価　殊に野菜等の値上がりが著しいようだ．2倍　3倍との事だ．散髪料等もどんどん上がる．野菜も散髪も必要なものだ．こんなものには統制はないのか．統制のあるものとないものとの関係はどうなつているのか．

大工　植木屋　石工等の公定日当が1200—1800円等と新聞に出ているが　この計算では月収4万円程になる．大学医学部を卒業し　何年か経ち　助手になつた初任給は1万数千円である．厚生省がポリオ生ワクチンの実施に際してかり出した医者の1日の報酬は　千円であつた．一人前の医者になるには　長い年月と多大の費用とを要する．その間　給料どころか　授業料や研究費　生活費を出さねばならぬ．それは親からの仕送りより他に方法はない．親がしつかりしていなければ　医者にはなれぬ．然も　医者になつてからの報酬が斯くの如くである．医者になるのは道楽や慈善のためではない．更に病院に於ける勤務医の定員が少い．ストをやらねば定員増加は実現しないのか．又　職場の施設のわるさは驚くべき程だ．その改善も殆ど望まれない．即ち勤務医は　低い待遇　少い定員　不備な設備にて仕事をしているのである．これでは医者に成り手がなくなるのは明らかである．これは政治がわるいのである．又　医者の中でも　比較的上層にある者は　積極的に改革しようとの熱意に乏しい憾みもある．いずれにしても　あまりの矛盾や不合理は　社会の乱れる元であり　医者　殊に勤務医や研究医の根元を断つような世の中にならぬように　今から充分の戒心が必要である（昭和37年1月）．

購読要項

1. 発行は毎月（年12回）とする．年間購読者を以て会員とする．
2. 会員は年間料金 1,200円を前納する．1冊料金 120円，払込みは振替口座番号京都4772番泌尿器科紀要編集部，或は第一銀行百万遍支店宛．
3. 入会申込みは氏名（フリガナ），住所（雑誌郵送先），勤務先，職地位，自宅開業の別，送金方法等を御記入の上編集部宛．

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説，原著，臨床報告，その他，寄稿者は年間購読者に限る．
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする．
3. 原稿は横書き，当用漢字，平仮名，新仮名使いを用い，片仮名には括孤を要しない．400字詰原稿用紙を用いること．附表，附図はなるべく欧文にすること．
4. 文献の書式は次の如くする．著者名：誌名，巻数：頁数，年次．

例．中野：泌尿紀要，1：110，昭30．Lazarus, J. A.：J. Urol., 45：527, 1941.

5. 300 語以内の欧文抄録を記し，之には欧文の標題，所属機関名，ローマ字著者名を附け，なるべくタイプライターを用いること．希望の場合は当編集部にて飜訳します　抄録用の原稿を送ること．飜訳の実費は申受く．
6. 掲載料は4頁迄毎頁 600円，それ以上の頁，アート頁，図表，写真は実費を申受ける．別冊20部を無料贈呈，それ以上は実費を徴収する．この場合には予め希望部数を申込むこと．特別掲載も考慮する．
7. 校正は初校のみ著者校正とし，再校以降は編集者が行う．
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院　京都大学病院　泌尿器科紀要編集部．